

# 日本の女流



三遊亭小円歌



海原さおり・しおり



パールフラッシュ



春野恵子



露の団姫

【番組】

解説/相羽秋夫

\*

浪曲/春野恵子

落語/露の団姫

三味線漫談/三遊亭小円歌

中入

イリュージョン/パールフラッシュ

漫才/海原さおり・しおり

2008年9月13日(土) 15:00開演(14:30開場)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

全席指定席 1階席2,500円/2階席2,000円 ◆6月13日(金) 発売

◎65歳以上、18歳以下、障害者及びその介助者は500円引き

◎茨木市観光協会会員、OSAKAメセナカード会員は10%割引(文化振興財団のみの取扱) \*就学前のお子様はご遠慮ください

◆チケットの取り扱い・お問い合わせ

(財) 茨木市文化振興財団 072-625-3055 (ユアアイホール1階 8:45~17:15 8/4~8/6は臨時休館)

◆その他の販売所

JA茨木市本所 072-627-7762 (総務課) / 朝日野村北摂販売(株) 072-643-8424

ローソンチケット0570-000-777・Lコード予約 0570-084-005 (Lコード 55264) / 電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 387-130) ※ぴあは割引の取扱なし

◆主催:(財) 茨木市文化振興財団 ◆後援:茨木商工会議所 ◆制作:三栄企画 ◆構成:相羽秋夫

# 艶芸の全て魅せます！

「日本の女流」と銘打つ今回の催しは、ずばり演芸界の女流ばかりを集めて、その艶やかな芸に酔っていたかどうかという、極めて珍しいイベントである。

「女流は寄席の華」と呼ばれ、昔から笑いの中に艶を与える存在としてファンから慕われてきた。

じゃんじゃん横丁にあった「新花月」では、この企画をするより平常より入場者が倍増するほどの人気があった。

今回は、そうした熱気を再現しようと、それぞれの分野でがんばっている逸材を集めて、皆さんをうっとりさせようという発想で実現にこぎつけた。

スポーツの世界では、女性アスリートの大活躍が目立つが、演芸界も女流の存在感が大きい。

かつては、芸人の子供が後を継ぐことがほとんどだったが、今日では門戸が広がって、一般の家庭の子女が挑戦するようになった。

そのため、力を秘めた人材が格段に多くなり、演芸界が沸き立ってきた。

今回は、そうした魅力をたっぷり伝えようと、演者はてぐすね引いて皆さんをお待ちしている。

そこで、その女流の横顔をご紹介します。

まず、浪曲の春野恵子。このところ上方の浪曲界が活気づいている。その原因は恵子と菊地まどかという若手女流ががんばっているからだ。

恵子は東京都の生まれ。難関東京大学を卒業した才媛である。卒業後は芝居にあこがれドラマに出演したが、浪曲の笑い、歌、芝居の全てを一人で演ずる魅力に魅れ、二代目春野百合子に入門した。まだ浪曲歴三年目の超新人である。

続いて落語界からは、露の団姫が代表する。「まるこ」と読んでいただきたい。

落語は男性の芸として伝えられてきたが、NHKテレビの「ちりとてちん」などの放送もあって、女流の存在が際立ってきた。



相羽秋夫

演芸評論家  
大阪芸術大学教授

団姫は静岡県で生まれ、名古屋の高校を出た。劇団「ひまわり」で子役としても活躍した。平成十七年に団四郎に入門したまだほやほやの若手だが、師匠に追いつき追い越そうと猛勉強の毎日である。

唯一の東京からの来演は、三遊亭小円歌である。立花家橘之助(女流)を頂点とし、滝の家鯉香、玉川スミ、吾妻ひな子といった名人を出した三味線漫談の領域を披露する。

すっかり日本人になじみのうすくなった三味線を駆使し、おしゃべりや歌、踊りなど幅の広い芸だ。

小円歌は東京は浅草生まれ。チャキチャキの江戸っ子である。落語の円歌に入門してあす歌から現在名を襲名した。

休憩をはさんで登場するのは、マジックのパールフラッシュである。

話芸と違って体技である奇術は、より一層体の管理に気を使う。まして女性としてイリュージョンという大ネタに挑戦しているのだから、その面での気配りが大変であることが想像出来る。

北海道の生まれで、数々のコンペティションで賞に輝き、現在は関西に根をおろして活躍している。

トリは、漫才界のもう大御所と言ってもよい海原さおり・しおりである。

女性コンビの人気者としては、いくよ・くるよに次ぐベテラン(?) になってしまった。

女優志願であったが、漫才に転向し、女流の第一人者であったお浜・小浜の門下になった。歌もうまく、何枚ものCDを出している。

女性コンビは結婚すると長く続かないものだが、この二人は、結婚し出産した後も、安定したコンビを継続しているのが立派である。

〈敬称略〉

### ◆チケットの取り扱い・お問合せ

(財) 茨木市文化振興財団 072-625-3055 (ユアアイホール1階 8:45~17:15 8/4~8/6は臨時休館)

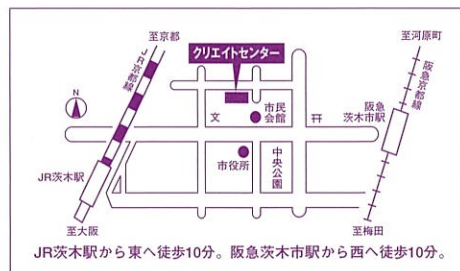
\* 発売初日から電話予約もお受けしますがお席はお選びいただけません。

\* 予約後は、1週間以内に財団窓口でご精算ください。

\* 予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送手数料300円〉を、郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払い込み確認後の発送となります。

〈振替口座〉00970-7-190576 / 加入者名: 財団法人茨木市文化振興財団

\* 窓口販売と電話予約が競合する場合は窓口販売を優先しますので予めご了承ください。



**本物志向の店**  
地酒とワインと良い食品

**地酒の にじま**

株式会社

本店: 茨木市新和町4-11  
☎ 072-633-3500 FAX 072-634-5002

全メーカー修理・販売・工事

暮らしを豊かに

**電器の マツナガ**

本社 有限会社 マツナガ電器

〒567-0872 茨木市新中条町8番18号  
TEL. (072) 625-1313 FAX. (072) 622-7379  
スゴイヤスサ

0120-451843